

親のギャグ・ダジャレを どう思っていますか

目的

親も子供も、ギャグ・ダジャレに対して考えることで、これからどう関われは「良いのか」、親にギャグ・ダジャレを言われた際にどう接したら良いのかなど、これから、親子仲良く暮らしていくために、どうすれば「良いか」にふれ、生活をより良くしてほしいこと。

仮説

「親父ギャグ」という言葉があるのか、ギャグは父親が言うイメージがある。思春期(今回、小学6年生に限定)は親のギャグにいやな思いをしていると考えた。

方法

浮孔西小学校6年21人にアンケートを行った。
回答は複数回答とした。

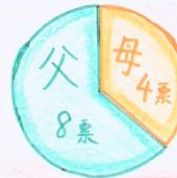
質問一

親はギャグ・ダジャレを言いますか？
(週4回以上)



質問二

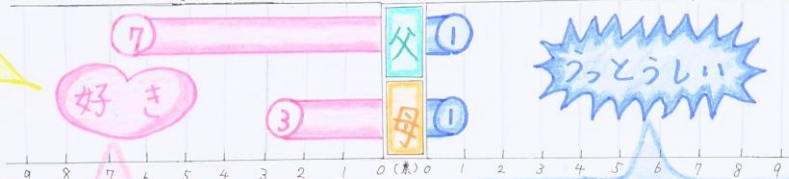
それを言っているのは誰ですか？



質問三

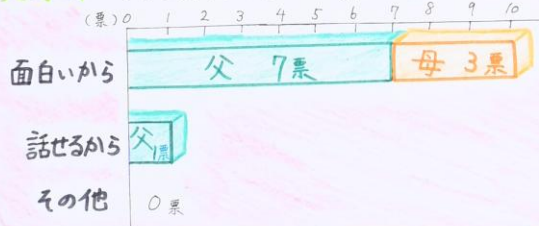
それに対してどう思っていますか？

「好き」が多い!!!

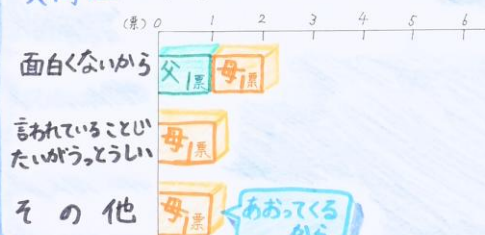


やっぱり父親が多いんだ!!!

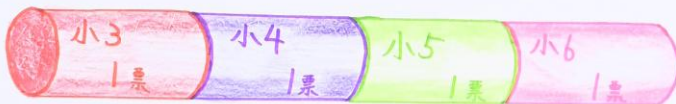
質問四 何故、好きなのですか？



質問五 何故、うっとうしいのですか？



質問六 いっ頂から「うっとうしい」と感じるようになりましたか？



調べて分かったこと

ギャグ・ダジャレに対していやな思いをしているという仮説に対して、「うっとうしい」と思う人が21人中2人だったことにおどろいた。親がギャグ・ダジャレを言えば、きょうが近くなる家庭もあれば、はなれていってしまう家庭もあるので、親子でしっかり話し合い、「どこまでならは良いのか」など、両方がしんどくならないよう、工夫していくことが大切だと分かった。友達からよく、「うちのママ(パパ)とけんかした」など、親子関係が心配だったので、ギャグ・ダジャレを上手く使って、バランスをたもててくれたら良いなと思った。

資料

浮孔西小学校令和7年度6年1組 中21人
(令和7年7月16日)